

**第10回 関東ミックスダブルスカーリング選手権大会
兼 第10回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会
代表チーム選考会**

第10回 関東ミックスダブルスカーリング選手権大会
 兼 第10回 日本ミックスダブルスカーリング選手権大会
 代表チーム選考会 大会開催要綱

大会名称	第10回 関東ミックスダブルスカーリング選手権大会 兼 第10回 日本ミックスダブルスカーリング選手権大会 代表チーム選考会
主催	関東ブロックカーリング協議会 東京都カーリング協会 神奈川県カーリング協会 栃木県カーリング協会 群馬県カーリング協会 山梨県カーリング協会 千葉県カーリング協会
主管	神奈川県カーリング協会
後援	公益社団法人 日本カーリング協会 軽井沢町
協力	軽井沢町風越公園 軽井沢アイスパーク
会場	軽井沢町風越公園 軽井沢アイスパーク 北佐久郡軽井沢町大字長倉1157-6 0267-48-5555
日時	2017年2月11日(土)～12日(日)
競技日程	2月11日(土) 8:50～9:00 受付 9:00～9:30 開会式、チームミーティング 10:00～19:00 予選リーグ 2月12日(日) 9:00～17:00 タイブレーク、決勝トーナメント 17:15～17:30 表彰 注 時間は変更される場合があります。
出場資格	各都県の代表チームであり、2016年度の日本カーリング協会に競技者登録されているメンバー2名で構成されているチームとする。 ただし、関東地区(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨の8都県)に在住、在勤または在学しており、かつ関東ブロックの都県協会から競技者登録を行っている者が1名以上であること。なお、チームには指導者資格を有するコーチを1名加えることができるが、コーチは自他のチームに限らずメンバーを兼ねることができない。
登録	各チームが大会事務局に対して、2017年1月31日(火)までに出場チームとメンバーを提出することとする。 1月31日を過ぎてのメンバー変更は1名まで可能とし、大会事務局に届け出ること(リザーブの登録は認められない)。また、メンバー変更はチームミーティング(2017年2月11日 9:00～9:30 実施)以降は認められない。 選手の派遣依頼は、チームで1名までとし、チーム内の1名は出場都県に所属していることとする。また、チームエントリーの際に派遣承諾書を添付すること。
チーム名	チーム名は地域名又は団体名(法人名)を含んだ名前とする。
ユニフォーム	ユニフォームは全員同一の物を着用することが望ましい。(2色揃えなくても良い)
参加チーム	8チーム(東京:3、神奈川:2、栃木:1、群馬:0、山梨:1、千葉:1)
参加費	1チーム 25,000円
申込先	関東ブロックカーリング協議会ホームページ内の申込みフォームに必要な事項を入力の上送信すること。 http://www.kantocurling.com/kanto-md2016form/postmail.html
申込期間	申込期間 1月23日(月)～1月31日(火) 参加費振込期間 1月23日(月)～1月31日(火)
大会事務局	第10回 関東ミックスダブルスカーリング選手権大会 兼 第10回 日本ミックスダブルスカーリング選手権大会 代表チーム選考会 事務局 問合せ先: akcc-ml@kantocurling.com
抽選	当日チームミーティングにて抽選。 東京都協会のチームは、一方のブロックに2チーム、他方に1チームとなるようにする 神奈川県協会のチームは、一方のブロックに1チーム、他方に1チームとなるようにする

<p>競技規則</p>	<p>日本カーリング協会(JCA)競技規則 2015年1月版および2016年2月版改定事項、およびWCF年次総会2016にて決議された事項、および本大会ローカルルールによる。2016年2月版のJCA競技規則改定内容は、JCAホームページよりご確認ください。 http://www.curling.or.jp (TOPページ→JCA専門委員会から→競技規則改正についての解説 2016.2/4版) ※ティーを覆ったストーンの計測方法に関する部分は適用しない (ボタンにかかったストーンは0.0cm、ハウスに入らなかったストーンは、185.4cmとする) ※今大会は、使用するブラシについては、制限をしない。 必ずしも、WCF公認パッドを使用する必要はない。毛ブラシの使用も可とする 【WCF年次総会2016にて決議された事項】 ※タイムアウトの時間は固定(移動時間+60秒)し、コーチがいるかどうか・コーチがプレーエリアに来ているかどうかに関わらず、すべてのチームにその時間を与える。 ※スウィーピング動作はいかなる方向でも良く(ストーンの幅全体をカバーする必要なし)、動いているストーンの前にゴミを残さない。スウィープをやめる時は、ストーンのいずれかの端の外側でやめること。 ※ミックスダブルスで投球を守らなかった場合、(a)投球順を間違えて投げて、次の相手チームが投げる前に気付いた場合、ストーンはプレーから取り除かれる (b)投球順を間違えて投げて、次の相手チームが投げる前に気付かれなかった場合、プレーは続行。エンドの最初のストーンを投げる人がそのエンド投げるのが多くて2投となるようにする。</p>
<p>試合方法</p>	<p>※変更する可能性があります。 【共通事項】 ■計時(シンキングタイム制)を行う。タイマーはすべて大会実行委員が担当する。 ■ハーフタイム以外の各エンド間のブレイクは60秒とする。 ■ブレイクおよびハーフタイムの残り時間が10秒以上あっても、両チームが準備できていれば次のエンドを開始して良い。 ■計測に要する時間はデッドタイムとする。 ■試合前練習は各チーム4分間とする。 ■LSDを実施する場合は、練習終了後リンク内に表示されている数字1→2に向かって投球する。各チーム2投ずつ(時計回り/反時計回りで別の人が投球)投球し、2投の合計が少ないチームに先攻・後攻を決める権利が与えられる。チームのLSDが同値の場合は、最小値投球者により決定する。LSDで決定できない場合は、コイントスにて決定する。 ■最終エンドを終えて同点の場合は1エンドのエキストラエンドを行い(両チーム持ち時間3分、決勝トーナメントではチームタイムアウト1分間×1回)、それでも決着しない場合はチームの代表者のドローで勝敗を決する。 ■試合開始時のストーン配置は、審判長が決定する。 ■エンド開始時のストーン配置は各チーム同意のもと、原則として選手が行う。その際必要があれば審判に裁定を委ねることができる。 ■その他、ルールに定められていないことが起こった場合は、審判長の判断に従う。 【予選リーグ】 ■2ブロックに分け、各リーグで1回戦総当りを行う。 ■試合は8エンド、両チーム持ち時間22分、ハーフタイム5分、チームタイムアウトなし、エキストラエンドもチームタイムアウトなし。 ■LSDを実施して先攻、後攻を決める。 ■予選リーグ3試合を通じ、各選手はLSDの投球で時計回り・反時計回りをそれぞれ最低1投は投げる。 ■組み合わせの左側のチームが赤色のストーンを使用し、LSDの先攻とする。 ■DSCはLSDの平均(一番悪いLSDはカット)とする。 ■予選リーグの順位は、下記①～④の優先順位により決定する。各リーグ上位2チームが決勝トーナメントへ進出する。 ① 勝利数の多い順 ② 当該チーム間の勝敗(勝利数の多い順) ③ 当該チーム間のDSCの成績(DSCの良い順) ④ 当該チーム間の一番良いLSD(LSDの良い順) ただし、①のみでは決勝トーナメント進出の2チームが確定しない場合、競技規則(前述)の準決勝出場チーム決定のためのタイブレークチャートを準用して、最大一段階のタイブレークを行い順位を決定する。 【タイブレーク】 ■組み合わせは決勝トーナメント出場チーム決定のためのタイブレークチャートに基づき、実行委員が決定する。 ■試合は6エンド、両チーム持ち時間17分、ハーフタイムなし、チームタイムアウト1分間×1回。</p>

	<p>【決勝トーナメント】</p> <p>■予選各リーグ上位2チーム(計4チーム)によるページシステムトーナメントを行う。</p> <p>■試合は8エンド、両チーム持ち時間22分、ハーフタイム5分、チームタイムアウト1分間×1回。</p> <p>■エキストラエンドは、両チーム持ち時間3分、チームタイムアウト1分間×1回。</p> <p>■もし予選リーグが同じだったチームが対戦する場合は、予選リーグでの勝利数の多いチーム(勝利数が同じ場合は直接対決の勝者)が1エンド目の先攻、後攻を選択し、1エンド目の先攻のチームがストーンの色を選択する。LSDは実施しない。</p> <p>■もし予選リーグが別だったチームが対戦する場合は、予選リーグのDSC成績上位チームがストーンの色またはLSDの順番を選択できる(DSCの成績が同じ場合はコイントス)。先攻後攻はLSDで決定する。</p>
表彰	上位3チームを表彰する。また、1位のチームに次年度の関東ミックスダブルスカーリング選手権大会のシード権を与える。
その他	本大会成績の上位2チームには、第10回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会の出場権を与える。当該チームが日本選手権出場を辞退した場合は、順位下位チームへ出場権が与えられる。 メンバーの変更は認めない(不慮の事態が発生した場合は審判長が判断)。
レセプションについて	レセプションは実施しない。
宿泊について	宿泊の手配は各自で実施する。

大会役員 大会実行委員

大会長	酒巻 智	関東ブロックカーリング協議会会長 東京都カーリング協会会長	
大会副会長	須田 毅 亀田 祐司 北澤 正人 米谷 政長 小柳 隆司	神奈川県カーリング協会会長 栃木県カーリング協会会長 群馬県カーリング協会会長 山梨県カーリング協会会長 千葉県カーリング協会会長	
競技委員長	楠井 悠平	東京都カーリング協会	
副競技委員長	山内 猛	神奈川県カーリング協会	
審判長	山分 純	神奈川県カーリング協会	JCA公認B級審判員
副審判長	立松 正	東京都カーリング協会	JCA公認C級審判員
事務局長	小林 伸記	神奈川県カーリング協会	関東ブロック事務局
事務局	河野 敬行	神奈川県カーリング協会	関東ブロック事務局
会計	植松 友香	山梨県カーリング協会	関東ブロック会計
大会実行委員	立松 正 久保 和子 大岸 健治 山分 純 山内 猛 山内 なお子 山本 聖二 山本 麻実 橘 典秀 内藤 大介 平山 久美子	東京都カーリング協会 東京都カーリング協会 東京都カーリング協会 神奈川県カーリング協会 神奈川県カーリング協会 神奈川県カーリング協会 神奈川県カーリング協会 神奈川県カーリング協会 神奈川県カーリング協会 栃木県カーリング協会 山梨県カーリング協会 千葉県カーリング協会	

試合スケジュール

左側チームが濃い色のストーンを使用し、試合前練習を先に実施
タイマーはすべて大会実行委員が担当

		練習開始		Aシート	Bシート	Cシート	Dシート	
11日 (土)	10:00	12:15		A1 - A2	B1 - B2	A3 - A4	B3 - B4	
	13:15	15:30		B4 - B1	A4 - A1	B2 - B3	A2 - A3	
			アイスメイク(ボス)					
	16:30	18:45		A2 - A4	B2 - B4	A1 - A3	B1 - B3	

◆タイブレークありの場合

		練習開始		Aシート	Bシート	Cシート	Dシート
12日 (日)	9:00	10:40	未使用			タイブレーク	タイブレーク
	11:30	13:40				決勝	4位決定戦
						アイスメイク(ボス)	未使用
	14:40	16:50				2位決定戦	

◆タイブレークなしの場合

		練習開始		Aシート	Bシート	Cシート	Dシート
12日 (日)	9:00	11:10	未使用			決勝	4位決定戦
						アイスメイク(ボス)	未使用
	12:40	14:50				2位決定戦	

※使用するシートは変更される場合があります
 ※試合スケジュールは当日の進行によって変更される場合があります
 ※タイブレークおよび決勝トーナメントで使用するシートは、試合前に、審判長より通知いたします

組合せ表

予選Aブロック		A1	A2	A3	A4	W	L	DSC	RANK
A1									
A2									
A3									
A4									

予選Bブロック		B1	B2	B3	B4	W	L	DSC	RANK
B1									
B2									
B3									
B4									

決勝トーナメント表



審判からの注意事項

1. 試合方法

- ◆予選リーグ
1試合 8エンド シンキングタイム制 チーム22分 ハーフタイム5分 チームタイムアウトなし
エキストラエンド チーム3分 チームタイムアウトなし
- ◆タイブレーク
1試合 6エンド シンキングタイム制 チーム17分 ハーフタイムなし チームタイムアウト1回
60秒
エキストラエンド チーム3分 チームタイムアウト1回60秒
- ◆決勝トーナメント
1試合 8エンド シンキングタイム制 チーム22分 ハーフタイム5分 チームタイムアウト1回
60秒
エキストラエンド チーム3分 チームタイムアウト1回60秒

2. チームタイムアウト 時の移動時間

タイムアウトの時間は固定(移動時間+60秒)し、コーチがいるかどうか・コーチがプレーエリアにきているかどうかに関わらず、すべてのチームにその時間を与える。
移動時間は、ホーム側60秒、アウェー側90秒とする。

3. ストーン配置

試合開始時のストーン配置は審判長が決定し、エンド開始時のストーン配置は各チーム同意のもと、原則として選手が行う。(パワープレー実施時も同様)

4. 試合前練習および LSD(ラストストーン ドロウ)

- ◆予選リーグでは、組み合わせ表の左側に記載されているチームから先に、4分間の試合前練習(試投をしてもよい)を実施し、引き続いてLSDを行う。
LSDは各チーム2投ずつ(時計回り/反時計回りの順で別の人が投球)投球する(アウェー→ホームエンド)。
- ◆タイブレークでは、1エンド目後攻のチームから先に、4分間の試合前練習(試投をしてもよい)を実施する。
LSDは実施しない(予選リーグでの勝者チームが、1エンド目の先行、後攻を選択する)
- ◆決勝トーナメントで予選リーグが別だったチームが対戦する場合は、DSC成績上位チームが先練・後練を選択する、もしくはストーンの色を選択する。
他方はもう一方を選択する。
LSDは各チーム2投ずつ(時計回り/反時計回りの順で別の人が投球)投球する(アウェー→ホームエンド)。
- ◆決勝トーナメントで予選リーグが同じだったチームが対戦する場合は、1エンド目後攻のチームから先に、試合前練習を実施する。LSDは実施しない。

5. DSC

予選リーグのLSDから最も記録の悪い一投をカットした平均。

6. ストーンの色、 1エンド目の先攻後攻

- ◆予選リーグでは、組み合わせ表の左側に記載されているチームが濃い色のストーンを使う。また、LSD2投合計の短いチームが1エンド目の先攻後攻の決定権を持つ。
- ◆タイブレークでは、予選リーグでの勝者チームが、1エンド目の先攻、後攻を選択する。
1エンド目の先攻のチームがストーンの色を選択する。
- ◆決勝トーナメントで予選リーグが別だったチームが対戦する場合は、DSC成績上位チームが先練・後練を選択する、もしくはストーンの色を選択する。
他方はもう一方を選択する。また、LSD2投合計の短いチームが1エンド目の先攻後攻の決定権を持つ。
- ◆決勝トーナメントで予選リーグが同じだったチームが対戦する場合は、予選リーグでの勝利数の多いチーム(勝利数が同じ場合は直接対決の勝者)が1エンド目の先攻、後攻を選択し、1エンド目の先攻のチームがストーンの色を選択する。

7. 決勝トーナメント 進出チーム

各リーグ上位2チームの計4チームが決勝トーナメントに進出する。
勝利数のみで、決勝トーナメント進出チームが確定しない場合は、タイブレークを行い順位を確定する。

8. タイブレーク後の 予選順位

同率でタイブレーク戦なしに勝ち上がったチームと、タイブレーク戦で勝ち上がったチームの順位は、予選リーグでの直接対決結果により、順位を決定する。

9. 大会期間中の 練習について

大会期間中(2/11~12)は、参加チームの空きシートでの練習(夜間練習含む)は、禁止とします。

10. その他

今大会はホッグラインセンサーを使用しない。この通知をもってホッグライン違反の一回目の警告とする。
大会中、不測の事態が発生した場合は、審判長が決定する。

その他 ご注意 お願い

■レセプションについて

レセプションは行いません。

■2Fふれあいホールについて

2Fふれあいホールは共有スペースとなっています。

荷物を置きっ放しにしての席の占有はなさらずに、席を離れる際は荷物を持って行かれるようにお願いします。

■ゴミの持ち帰りのお願い

ゴミは各自でお持ち帰りをお願いします。

選手名簿

チーム名	選手名1(男子)	選手名2(女子)	コーチ	所属協会
東京 中森・大久保	中森 享利	大久保 美		東京都カーリング協会
東京 Goldilocks	樋口 祐太	渡邊 莊子		東京都カーリング協会
東京都CA	末廣 賢	大岩 聖奈		東京都カーリング協会
神奈川シリウス	阿部山 勝弘	笹田 麻美		神奈川県カーリング協会
神奈川ひまわり	小林 伸記	中島 友里		神奈川県カーリング協会
栃木 vivacious	鈴木 義成	岩崎 正枝		栃木県カーリング協会
山梨MIX	米谷 政長	植松 友香	大野 美紀	山梨県カーリング協会
チーム小柳 千葉	小柳 隆司	小柳 優希		千葉県カーリング協会

